

(様式第9)

群大医総2第777号
平成21年10月 2日

厚生労働大臣 殿

群馬大学医学部附属病院長
石川

群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	61.5人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	242人	224人	428.4人	看護業務補助	1人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7	22人	27.8人	理学療法士	8人	臨床検査技師	54人
薬剤師	40人	16人	56.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	1人	0.8人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	19人	0人	19.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	568人	48人	604.3人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	2人	4人	4.4人	栄養士	1人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	144人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	42人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	606.1人	11.5人	617.6人
1日当たり平均外来患者数	1,788.9人	77.8人	1,866.7人
1日当たり平均調剤数	14,886.6剤(897.7件)		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癬痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	9人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	135人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	48人
・多発性硬化症	97人	・ウェゲナー肉芽腫症	19人
・重症筋無力症	122人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人
・全身性エリテマトーデス	319人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	114人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人
・再生不良性貧血	53人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	198人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	20人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	323人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	111人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・結節性動脈周囲炎	35人	・混合性結合組織病	27人
・潰瘍性大腸炎	148人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	12人
・ビュルガー病	45人	・網膜色素変性症	23人
・天疱瘡	50人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	71人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	60人	・神経線維腫症	14人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	256人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	12人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	50人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	5人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に6回程度		
剖検の状況	剖検症例数	35 例	剖検率 10.2 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	森 昌朋	第一内科	900,000	補 厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	森 昌朋	第一内科	1,500,000	補 厚生労働省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の受容体活性化機構の解明と臨床展開	森 昌朋	第一内科	12,480,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin1の脂肪分化抑制機構の解明と肥満治療への応用	岡田 秀一	第一内科	2,990,000	補 文部科学省
内分泌腫瘍発生機構の解明:MLL/menin核内複合体-細胞周期経路からの戦略	山田 正信	第一内科	1,950,000	補 文部科学省
新規摂食抑制蛋白、ネスファチン-1欠損マウスの樹立とその行動学的解析	清水 弘行	第一内科	650,000	補 文部科学省
気管支喘息の診断、治療判定のための簡便な指標としての簡易な気道炎症マーカーの検討-呼気NO測定オフライン法のかかりつけ医での応用の可能性-	石塚 全	第一内科	1,000,000	補 厚生労働省
24時間咽喉食道内pH・インピーダンスモニタリングによる食道咽喉逆流の解析	河村 修	第一内科	1,560,000	補 文部科学省
非アルコール性脂肪性肝炎の病態における核内レセプターPXRとCARのクロストーク	柿崎 暁	第一内科	1,690,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の細胞内シグナル伝達経路の解明	橋本 貢士	第一内科	2,340,000	補 文部科学省
PPARの転写共役因子PDIP1K Oマウスにおける脂質代謝異常の分子病態解析	佐藤 哲郎	第一内科	2,470,000	補 文部科学省
ヒト臍帯血由来培養好塩基球の機能と細胞内シグナル伝達に関する研究	石塚 全	第一内科	1,820,000	補 文部科学省
JNKアイソフォームによる相反するIL-12産生制御:RNA干渉を用いた検討	宇津木 光克	第一内科	2,080,000	補 文部科学省
肝細胞増殖因子トランスジェニックマウスを用いた発癌機序の解析	市川 武	第一内科	1,300,000	補 文部科学省
慢性腎疾患に合併する血管石灰化の分子機構の解明	倉林 正彦	第二内科	13,390,000	補 文部科学省
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	前野 敏孝	第二内科	3,000,000	補 厚生労働省
NOTCH-FABP経路は心臓毛細血管内皮細胞の脂肪酸能動輸送を制御する	磯 達也	第二内科	1,430,000	補 文部科学省

小計17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
klotho遺伝子変異マウスを用いた、慢性閉塞性肺疾患の病態解明	須賀 達夫	第二内科	1,560,000	補 文部科学省
骨髄由来単核球細胞の血管平滑筋細胞への分化調節機構の解明と新規治療法開発への応用	富田 智之	第二内科	2,210,000	補 文部科学省
糸球体バリアー機能における新規細胞間情報伝達系SHPS-1-CD47の解析	野島 美久	第三内科	1,950,000	補 文部科学省
CD47-SHPS-1シグナル系を標的とする新規治療法に関する検討	金子 和光	第三内科	2,210,000	補 文部科学省
腎幹細胞システムを利用した腎再生医学の確立	前嶋 明人	第三内科	1,950,000	補 文部科学省
血液透析患者における生体内酸化ストレス発生のメカニズムとその影響について	山本 多恵	第三内科	1,100,000	補 文部科学省
統合失調症と気分障害における意欲症状の脳基盤の解明と改善のためのNIRS研究	福田 正人	精神科神経科	4,420,000	補 文部科学省
こころの健康増進のための脳機能自己モニタリング・システムの確立	福田 正人	精神科神経科	1,400,000	補 文部科学省
アレルギー性疾患の発症・進展・重症化の予防に関する研究	荒川 浩一	小児科	4,000,000	補 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	荒川 浩一	小児科	3,000,000	補 厚生労働省
川崎病治療戦略を意識した血清サイトカインと細胞外蛋白基質代謝の解析	荒川 浩一	小児科	1,040,000	補 文部科学省
アトピー性皮膚炎の発症および悪化因子の同定と発症予防・症状悪化防止のための生活環境整備に関する研究	望月 博之	小児科	2,500,000	補 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	小林 徹	小児科	9,000,000	補 厚生労働省
急性期川崎病患者におけるToll-Like Receptorシグナル伝達の解析	小林 徹	小児科	1,040,000	補 文部科学省
血球貪食症候群における臓器障害メカニズムの細胞レベルでの解明	田村 一志	小児科	2,210,000	補 文部科学省
メントレキセートの神経毒性メカニズムの解明ーグルタミン酸神経細胞毒性との関連性	塚田 昌大	小児科	2,340,000	補 文部科学省
合成糖鎖による抗腫瘍効果の解析ー新規抗がん剤の開発を目指してー	浅尾 高行	第一外科	2,470,000	補 文部科学省
生体肝移植過小グラフト克服に対する先進的探求:自己生体幹細胞由来細胞移植の応用	加藤 広行	第一外科	2,600,000	補 文部科学省
膵臓がんの発症・進展とDNA修復機構異常との関与	鈴木 秀樹	第一外科	1,430,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エフェクターCD8T細胞のアポトーシス制御による癌免疫療法への応用	和田 渉	第一外科	2,730,000	補 文部科学省
ヒト悪性腫瘍におけるRho GTPaseの役割-分子生物学的評価と治療への応用-	FARIED,A.	第一外科	1,100,000	補 文部科学省
乳癌におけるオーファン受容体RORによるアロマターゼ遺伝子発現調節機構の解明	堀口 淳	第二外科	1,820,000	補 文部科学省
新規遺伝子変異検索技術SMAP法を用いた肺癌に対する網羅的診断・治療体系の確立	清水 公裕	第二外科	5,460,000	補 文部科学省
乳癌の薬剤耐性機序の解明-核内受容体SXRによるUGT発現の関与-	小田原 宏樹	第二外科	1,300,000	補 文部科学省
乳癌における核内受容体SXRの意義と新たな治療法の開発	六反田 奈和	第二外科	910,000	補 文部科学省
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	篠崎 哲也	整形外科	800,000	補 厚生労働省
骨肉腫細胞における自己分泌型細胞運動刺激因子と骨形成関連分子の相互作用の解析	柳川 天志	整形外科	2,990,000	補 文部科学省
創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究	石川 治	皮膚科	1,300,000	補 厚生労働省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	石川 治	皮膚科	900,000	補 厚生労働省
真皮線維芽細胞から部位特異的に分泌される蛋白の機能解析	安田 正人	皮膚科	2,210,000	補 文部科学省
全ゲノム・ホモザイゴシティ・ハプロタイプ解析による前立腺癌責任遺伝子の解明	鈴木 和浩	泌尿器科	5,200,000	補 文部科学省
前立腺癌の発生・生物学的特性・増殖に関する内分泌学的因子の研究	伊藤 一人	泌尿器科	2,340,000	補 文部科学省
血清前立腺癌特異マーカーproPSAの癌予測因子としての有用性と癌の特性との関係	山本 巧	泌尿器科	1,950,000	補 文部科学省
前立腺癌、腎癌におけるアポトーシス抑制因子サバイビンに関する分子標的治療の研究	小池 秀和	泌尿器科	1,560,000	補 文部科学省
日本人前立腺癌における前立腺癌関連遺伝子座8q24の検討	松井 博	泌尿器科	1,950,000	補 文部科学省
男性ホルモンが膀胱機能に及ぼす影響-血管を中心とした検討	曲 友弘	泌尿器科	1,170,000	補 文部科学省
メバロン酸経路をターゲットとした前立腺癌治療への基礎的研究	野村 昌史	泌尿器科	1,170,000	補 文部科学省
糖尿病網膜症におけるアクチビン-フォリスタチン系の役割	岸 章治	眼科	1,950,000	補 文部科学省
光障害による眼疾患の分子生物学的メカニズム	秋山 英雄	眼科	3,120,000	補 文部科学省
頭頸部癌患者における末梢血中微量癌細胞の同定法の開発と個別化がん治療への応用	古屋 信彦	耳鼻咽喉科	500,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
前庭機能異常に関する調査研究	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	1,000,000	補	厚生労働省
だまされる視覚～3次元視覚刺激による空間識の錯乱～	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	3,640,000	補	文部科学省
制御性T細胞を用いた新しいアレルギー性鼻炎の治療に関する基礎的研究	豊田 実	耳鼻咽喉科	650,000	補	文部科学省
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのトランスレーショナル研究	中野 隆史	放射線科	7,930,000	補	文部科学省
放射線異感受性腫瘍に対する重粒子マイクロビーム照射・抗癌剤併用に関する基礎研究	高橋 健夫	放射線科	1,300,000	補	文部科学省
シスプラチンの細胞内画像化, 定量化に関する基礎的解析	櫻井 英幸	放射線科	900,000	補	文部科学省
炭素イオン線治療で悪性脳腫瘍を完治させるための基礎的研究	鈴木 義行	放射線科	2,210,000	補	文部科学省
食道癌の治療効果修飾因子の解析と新規治療薬剤の臨床応用に関する基礎的検討	野中 哲生	放射線科	3,250,000	補	文部科学省
放射線照射後の肝障害シグナル伝達機構の解明とHGFによる修飾について	村田 真澄	放射線科	1,170,000	補	文部科学省
低酸素状態にある正常脳細胞・悪性脳腫瘍細胞の放射線感受性の修飾に関する研究	AL-JAHDARI,W.S.	放射線科	1,100,000	補	文部科学省
標識抗体を利用したがん治療	遠藤 啓吾	核医学科	25,600,000	補	文部科学省
新しい放射性薬剤を用いたがん治療:ルテチウム-177(177Lu)標識抗体の開発	遠藤 啓吾	核医学科	1,700,000	補	文部科学省
アミロイドイメージングを用いたアルツハイマー病の発症・進展予測法の実用化に関する多施設大規模臨床研究	織内 昇	核医学科	1,200,000	補	厚生労働省
F-18標識アミノ酸を用いるPET-CTによるがんの治療効果判定法に関する研究	織内 昇	核医学科	1,560,000	補	文部科学省
アミノ酸輸送担体を標的とした膵癌のPET診断および個別的内照射併用治療の研究	樋口 徹也	核医学科	780,000	補	文部科学省
PET-光イメージングのマルチモダリティの有用性に関する基礎的検討	ポーデアル P	核医学科	600,000	補	文部科学省
サイクロトロン製造核種銅-64標識抗体を用いるPET診断、癌治療	PAUDYAL,B.	核医学科	500,000	補	文部科学省
ゴナドトロピン作用と卵成熟のメカニズム解明	峯岸 敬	産科婦人科	8,060,000	補	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣顆粒膜細胞におけるダイオキシン類のシグナル伝達系路の解明	平川 隆史	産科婦人科	1,300,000	補 文部科学省
栄養因子の双方向性制御による神経再生促進法の開発:新規DDSとsiRNA	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	9,490,000	補 文部科学省
先祖帰り制御因子Notch ligand操作による脳虚血後神経再生促進法の開発	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	2,100,000	補 文部科学省
蛍光蛋白導入マウスを用いた麻酔薬による抑制シナプス伝達分子調節機構の統合解析	西川 光一	麻酔科蘇生科	8,060,000	補 文部科学省
神経障害性疼痛時の鎮痛薬の薬理的な可塑性-脊髄モノアミンの変動を指標にして-	小幡 英章	麻酔科蘇生科	1,690,000	補 文部科学省
疼痛治療における新しいCT透視ガイド下神経ブロック法の開発と薬物療法の役割	肥塚 史郎	麻酔科蘇生科	910,000	補 文部科学省
なぜ抗血栓薬が痛みに効くのか-MRIで迫る鎮痛機序の解明	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,950,000	補 文部科学省
ドラッグデリバリーシステムを応用した徐放化局所麻酔薬の作成と慢性疼痛治療への応用	戸部 賢	麻酔科蘇生科	2,080,000	補 文部科学省
Intermedin/Adrenomedullinの循環作用と麻酔薬	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	2,080,000	補 文部科学省
麻酔薬によるシナプス可塑性抑制作用の分子機構:GABA合成酵素変異動物での解析	石関 淳子	麻酔科蘇生科	1,430,000	補 文部科学省
炎症性疼痛および神経因性疼痛における末梢でのセロトニンの役割	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,040,000	補 文部科学省
臓器特異的シタキシン3欠損マウスを用いたサイトカイン分泌機構の解析とその応用	入内島 伸尚	麻酔科蘇生科	2,860,000	補 文部科学省
痛覚情報伝達における抑制シナプスと脱抑制の関与:遺伝子改変マウスを用いた総合解析	麻生 知寿	麻酔科蘇生科	1,300,000	補 文部科学省
麻酔薬の健忘作用におけるGAD65由来の持続性抑制の役割	金丸 良範	麻酔科蘇生科	1,625,000	補 文部科学省
Naraモデルを用いた細胞移植・徐放化栄養因子による開胸術後痛治療法の開発	関 智子	麻酔科蘇生科	2,470,000	補 文部科学省
神経因性疼痛関連シグナル蛋白の分子イメージング法の開発	山田 真紀子	麻酔科蘇生科	1,170,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GABA合成酵素欠損マウスを用いた全身麻酔薬作用の電気生理学的・行動学的解析	久保 和宏	麻酔科蘇生科	900,000	補 文部科学省
PET-CTを用いた代謝に基づく腫瘍診断治療に関する研究-重粒子線治療への応用-	宮久保 満之	歯科口腔外科	1,703,000	補 文部科学省
数学モデルを用いた頸動脈狭窄症の治療適応に関する検討	好本 裕平	脳神経外科	1,950,000	補 文部科学省
機能再建外科治療を意図した随意運動神経回路網の回復機序についての研究	平戸 政史	脳神経外科	650,000	補 文部科学省
神経再生医療実現のためのミニプタ穿通枝脳梗塞モデルを用いた基盤的研究	今井 英明	脳神経外科	8,710,000	補 文部科学省
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科	1,000,000	補 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	岡本 幸市	神経内科	1,000,000	補 厚生労働省
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	補 厚生労働省
スモンに関する調査研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	補 厚生労働省
パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症の病態解明に関する研究	岡本 幸市	神経内科	1,950,000	補 文部科学省
脳幹部ニューロンに発現するシネミンの機能解明	水野 裕司	神経内科	2,600,000	補 文部科学省
神経原線維変化形成におけるシナプス障害とGSK-3βに関する検討	池田 将樹	神経内科	2,210,000	補 文部科学省
個別化医療の実現を目指した新規迅速遺伝子解析技術の臨床応用	村上 正巳	検査部	6,630,000	補 文部科学省
スフィンゴシン1-リン酸受容体とスカベンジャー受容体を介するリポ蛋白質作用	木村 孝穂	検査部	1,950,000	補 文部科学省
敗血症由来の中樞神経障害におけるHMBG-1の関与	門井 雄司	手術部	910,000	補 文部科学省
鎮静薬投与患者末梢血単核球のNF-κB転写活性、サイトカイン産生能の検討	國元 文生	集中治療部	1,170,000	補 文部科学省
Septic shockにおけるVasopressinの役割についての解明	日野原 宏	集中治療部	1,170,000	補 文部科学省
排卵期ヒト卵巣顆粒膜細胞の変化とその機能	岸 裕司	周産母子センター	1,040,000	補 文部科学省
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	岡村 信一	医療情報部	700,000	補 厚生労働省
非アルコール性脂肪肝炎における小胞体ストレスの役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,950,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
冠動脈疾患の新しいバイオマーカーとしてのリポ蛋白中リン脂質バランス変化	桑原 敦志	感染制御部	1,430,000	補	文部科学省
分子生物学的予後因子による子宮頸癌の至適治療法の開発	鹿沼 達哉	腫瘍センター	1,040,000	補	文部科学省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	中村 哲也	臨床試験部	10,000,000	補	厚生労働省
血栓塞栓症の発症に関わる遺伝的因子の解明と発症リスクの予測	中村 克徳	薬剤部	1,170,000	補	文部科学省

小計4

合計115

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrinology 149:2008 40-49	Tyrosine phosphorylation of manc18c regulates platelet-derived growth factor-stimulated glucose transporter 4 translocation in 3T3L1 adip	Umahara M	第一内科
Endocrinology 149:2008 1295-1301	Nesfatine-1 neurons in paraventricular and supraoptic nuclei of the rat hypothalamus coexpress oxytocin and are activated by refeeding	Kohno D	第一内科
Neuroscience 155:2008 174-181	The satiety molecule nesfatine-1 is co-expressed with melanin concentrating hormone in tuberal hypothalamic neurons of the rat	Fort P	第一内科
Respiration	Pioglitazone, a peroxisome proliferator-activated receptor gamma ligand, suppresses bleomycin-induced acute lung injury and fibrosis	須賀 達夫	第二内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	PIAS1 mediates TGFbeta-induced SM alpha-actin gene expression through inhibition of KLF4 function-expression by protein sumovlation	小和瀬 桂子	第二内科
Eur Heart J	A thrombus stuck in the ostium of the coronary artery	中原 健裕	第二内科
Mol Ther	Lentiviral vector-mediated SERCA2 gene transfer protects against heart failure and left ventricular remodeling after myocardial infarction in rats	新井 昌史	第二内科
Eur J Heart Fail	Plasma connective tissue growth factor is a novel potential biomarker of cardiac dysfunction in patients with chronic heart failure	新井 昌史	第二内科
Rheumatology, 47(5):702-7, 2008	Revised Classification of Lupus Nephritis is Valuable in Predicting Renal Outcome with Indication of the Proportion of Glomeruli Affected by Chronic Lesions	Noriyuki Hiramatsu, Takashi Kuroiwa, Yoshihisa Nojima	第三内科
Rheumatology, 47:815- 20, 2008	Expression of Interleukin-19 and Its Receptors in Rheumatoid Arthritis: Potential Role for Synovial Hyperplasia Formation	Noriyuki Sakurai, MD, Takashi Kuroiwa, MD, Yoshihisa Nojima	第三内科
Biochem Biophys Res Commun 37: 561-6, 2008	Resistance to collagen-induced arthritis in SHPS-1 mutant mice	Okuzawa C, Kaneko Y, Nojima Y	第三内科
Clin Pharmacol Ther. 85(5):527-30, 2009	Pro32Thr Polymorphism of Inosine Triphosphate Pyrophosphatase Gene Predicts Efficacy of Low-Dose Azathioprine for Patients With Systemic Lupus Erythematosus	Okada Y, Nakamura K, Nojima Y, Yamamoto K	第三内科
Int J Hematol. 2009 May;89(4):517-22	Low burden of a JAK2-V617F mutated clone in monoclonal haematopoiesis in a Japanese woman with Budd-Chiari syndrome	Toyama K, Karasawa M, Nojima Y, Tsukamoto N	第三内科
AIDS. 2009 Apr 27;27(7):761-9	Broad usage spectrum of G protein-coupled receptors as coreceptors by primary isolates of HIV	Shimizu N, Tanaka A, Nojima Y, Hoshino H	第三内科
Pathol Oncol Res. 2009 Mar 20	Hairy Cell Leukemia-Related Disorders Consistently Show Low CD27 Expression	Hashimoto Y, Tsukamoto N, Nojima Y, Karasawa M	第三内科
Nephrol Dial Transplant. 2009 Feb 2	Fluvastatin prevents podocyte injury in a murine model of HIV-associated nephropathy	Sakurai N, Kuroiwa T, Nojima Y	第三内科
Eur J Haematol. 2009 Mar;82(3):201-7	Clinical significance of regulatory T cells in patients with myelodysplastic syndrome	Hamdi W, Ogawara H, Nojima Y, Murakami H	第三内科
Brain Res. 2009 Feb 3;1252:152-60. Epub 2008 Dec 6. (IF: 2.218)	Subjective feeling of psychological fatigue is related to decreased reactivity in ventrolateral prefrontal cortex	Suda M, Fukuda M, Mikuni M	精神科神経科
Psychophysiology. 2009 Jan;46(1):52-61. Epub 2008 Nov 15	Preattentive dysfunction in major depression: A magnetoencephalography study using auditory mismatch negativity	Takei Y, Kumano S, Mikuni M	精神科神経科

小計19件